

■ 貸与型から給付型へ。“贈与経済”の価値を問う！ ■

創立 130 周年記念シンポジウム

「成熟社会の奨学金の役割～人を育てるチャリティ文化～」を開催

【日時】6月26日（日）13：30～15：30 【場所】千里山キャンパス 第2学舎BIGホール100

関西大学ではこのたび、創立130周年記念事業の一環として、昨今社会問題となっている奨学金をめぐる諸制度について考えるシンポジウム「成熟社会の奨学金の役割～人を育てるチャリティ文化～」を下記のとおり開催します。

給付奨学金は、その原資を寄付（チャリティ）に依存しています。東日本大震災以降、国民の間にチャリティの意識が高まっており、「共助」あるいは「新しい公共」が叫ばれる現代において、文化としてのチャリティの考え方が芽生えつつあります。そこで問われているのが、従来の交換経済に代わる贈与経済の価値の考え方です。本シンポジウムでは、修学支援としての奨学金が果たすべき役割や、チャリティ文化の醸成にかかる仕組みづくりについて議論を行います。

当日は、神戸女学院大学名誉教授の内田樹氏が「贈与経済論」をテーマに、適切な贈与とは何か、またそれを果たしうる成熟した市民を育成するための社会システムについて基調講演を行います。その後、日本初の募金によって建設されたJリーグ・ガンバ大阪の本拠地である市立吹田サッカースタジアムや、贈与する人とされる人を結びつける上で有効な仕掛けである、インターネットを利用したクラウドファンディングサービスなど、具体的な事例をもとに、人を育てるチャリティ文化について、パネルディスカッションを行います。

また、本学では創立130周年を記念して、2016年度から「学の実化」入学前予約採用型給付奨学金」等の新設し、給付奨学金制度を“学業奨励型”から“経済支援型”に設計し直しました。さらに、奨学金を通じた人と人とのつながりから紡ぎだされる「学縁」コミュニティを形成するために、奨学生会「葦の葉倶楽部」を設立するなど、「情けは人のためならず」の循環によるチャリティ文化の醸成に取り組んでいます。

つきましては本イベントに関して、周知および取材のご検討をよろしくお願いいたします。

記

【日 時】 6月26日（日）13：30～15：30 ※開場12：30～

【場 所】 千里山キャンパス 第2学舎BIGホール100

【受講料・対象】 無料・どなたでも可（事前申込要） 【定員】 700名（先着順）

【申 込 方 法】 関西大学奨学支援グループHP 申込みフォームより
<http://www.kansai-u.ac.jp/scholarship/130sympo.html>

【申 込 締 切】 定員に達し次第受付終了

【プログラム】 13：30～13：35 開会 主催者挨拶

13：35～14：15 基調講演「贈与経済論」：内田 樹 氏（神戸女学院大学 名誉教授）

14：25～15：25 パネルディスカッション

〈コーディネーター〉 杉本 厚夫（関西大学人間健康学部 教授）

〈パネリスト〉 内田 樹 氏

桑原 志郎 氏（大阪府サッカー協会 常務理事）

米良 はるか 氏（READYFOR株式会社 代表取締役）

15：25～15：30 閉会挨拶

以上

※ご取材を希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。

